

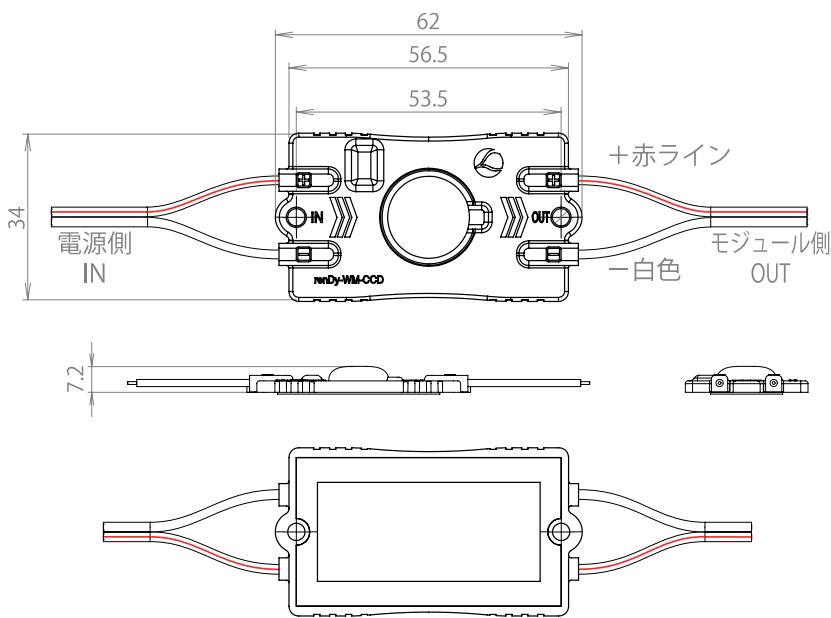
定電流タイプ

renDy-WM
レンディー ワイドモジュール

取扱説明書

看板内照光源 renDy-WM-CCD-G

製品仕様

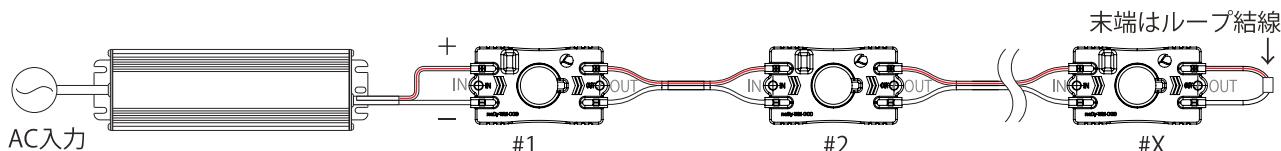


定電流タイプ renDy-WM

| | | |
|-------------|-----------------------|-----------|
| レンズ仕様 | 広角拡散レンズ | |
| LED個数 | 1個/1モジュール | |
| 色温度 | 3000K / 5000K / 6500K | |
| 回路方式 | 定電流直列駆動 | |
| 入力駆動電流 (If) | 350mA | 700mA |
| 入力駆動電圧 | 3.37V TYP | 3.57V TYP |
| 消費電力 | 1.25W | 2.5W |
| 光束(参考値) | 150~170lm | 280~300lm |
| 使用温度範囲 | -10°C ~ +50°C | |
| 保存温度範囲 | -20°C ~ +70°C | |
| 保護等級 | IP65相当 | |
| 連結個数 | 40個 | |
| モジュール間ピッチ | 350mm | |
| 質量 | 20 g | |

※定電流電源による連結個数は、使用する電源の出力範囲内により若干異なります。

連 結

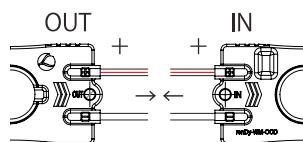


※各定電流電源によって連結個数は変わります。

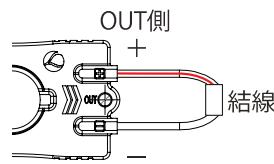
⚠ 必ず、定電流電源を使用して下さい。定電圧電源を使用すると故障します。

⚠ 本製品の接続時は、電源を切っておいて下さい。

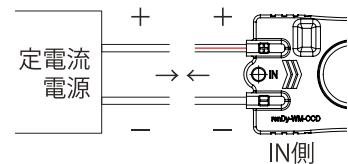
- ① 必要な明るさから設置距離・間隔に合わせて、モジュールの使用個数を決定します。
- ② 定電流電源に接続できるモジュール数は、出力電圧範囲内で連結して下さい。
* 使用する電源により異なります。
- ③ モジュールの連結個数を増やす場合は、末端モジュールのOUT側のケーブルと連結させるIN側の同じ極性同士を防水圧着端子や半田などで接続して下さい。
* 半田付の場合は自己融着防水テープなどで防水処理をして下さい。



- ④ モジュールのケーブルを切断した場合の端末モジュールは、OUT側の+極のケーブルと-極のケーブルを防水圧着端子や半田などで接続して下さい。
＊半田付の場合は自己融着防水テープなどで防水処理をして下さい。



- ⑤ 定電流電源に接続する場合は、必ずIN側のケーブルを接続し、極性を確認して接続して下さい。不点灯や故障の原因になります。



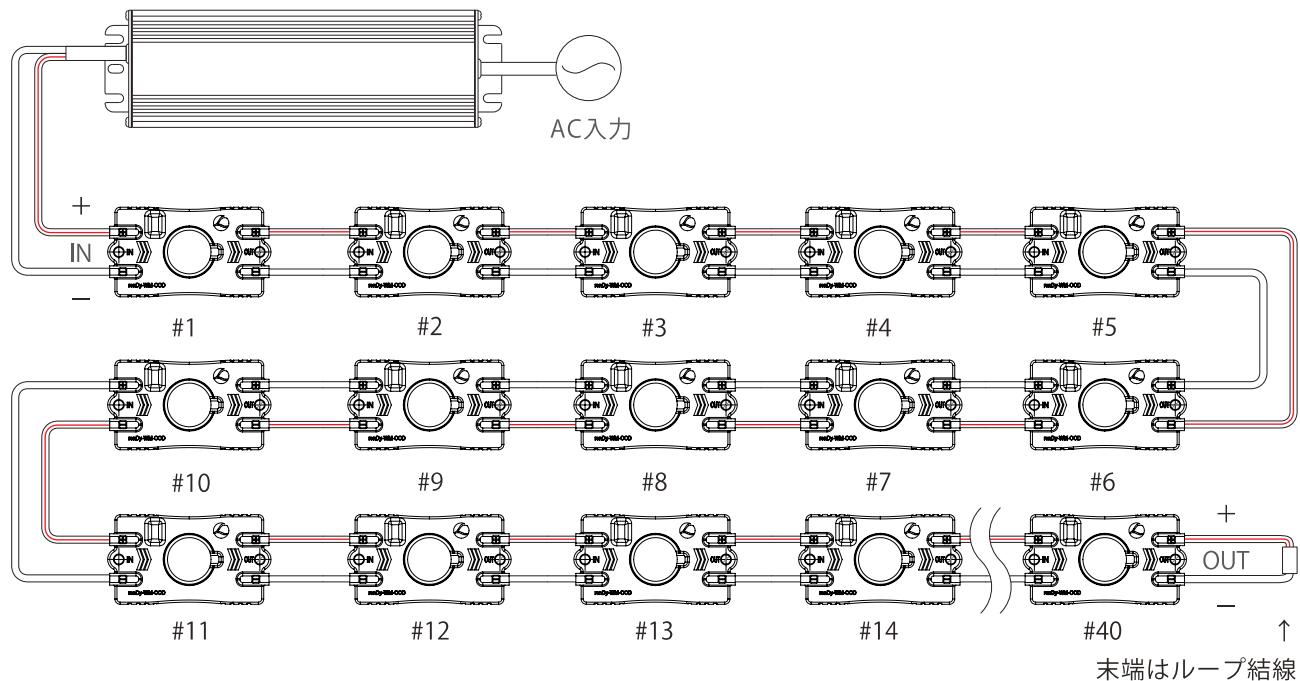
定電流電源による連結数

■連結個数は電源の出力電圧範囲によりLED連結個数が決まります。

- ・駆動電流が700mAの時に1個あたりの駆動電圧は約DC3.57V TYPになります。
よって $3.57V \times \text{連結個数} = \text{必要出力電圧}$ になります。(350mA時は約DC 3.37V)

※参考例

定電流電源の出力電流が700mA、出力電圧範囲が86V～143V (DC) 仕様の場合
24個～40個まで連結できます。

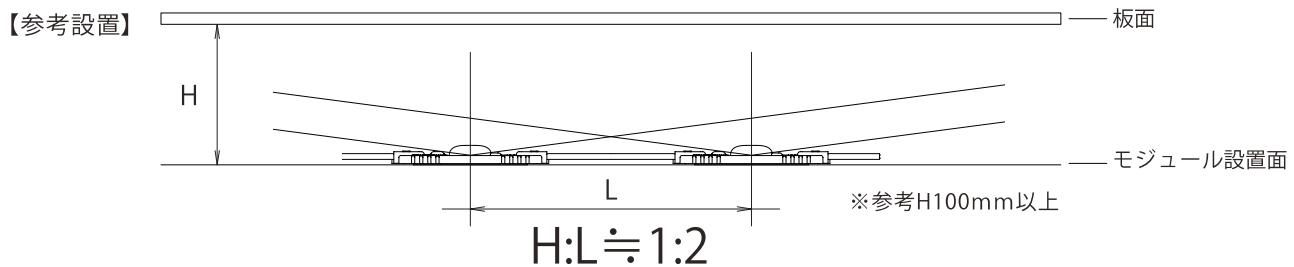


△ 注意事項

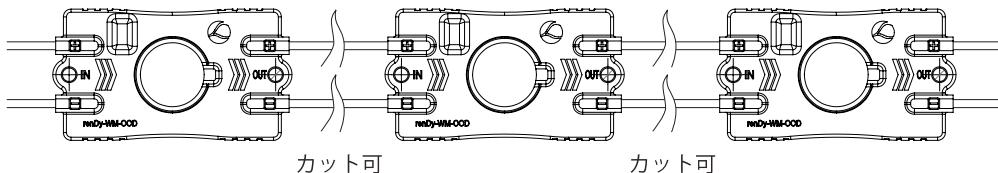
- ※各定電流電源の容量によって連結個数は変わります。
- ※電源への接続は、モジュールOUT側で接続すると故障します。
- ※末端のモジュールのOUT側は+ケーブルと-ケーブルを結線して下さい。
- ※定電流電源の連結個数範囲内で連結して下さい。過不足はLEDの点滅や故障の原因になります。
- ※モジュールの接続は必ず直列にて接続して下さい。

取付け方

- ① ハイパワーLEDは発熱が高いため、モジュールの取付は必ずアルミ複合板、金属板、アルミバーなどに設置し熱引設計を行い設置して下さい。
- ② 設置場所の水分・油分・汚れをふき取って下さい。
- ③ モジュールについている放熱性両面テープで仮固定して下さい。
- ④ 結線部分・端末は自己融着テープで絶縁して下さい。
- ⑤ モジュールの設置間隔は、配線が若干でもたわむようにして下さい。
気候などの温度変化に耐えられなく断線する危険があります。
- ⑥ 点灯確認後モジュールをシリコーン接着剤で固定して下さい。



◆ 1モジュールずつ切ることができます

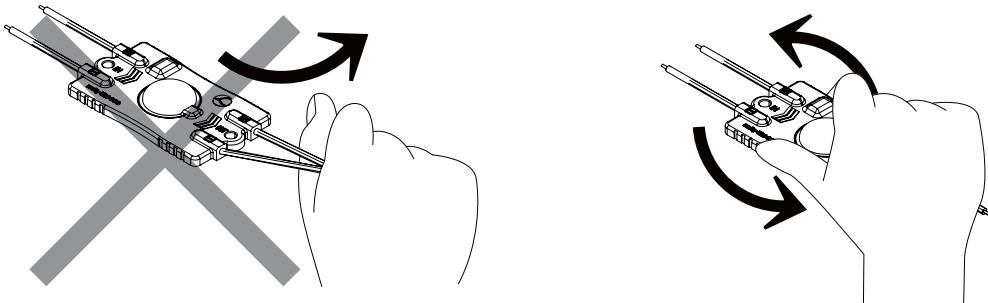


※定電流電源に接続できるモジュール数は、出力電圧範囲内で連結して下さい。

⚠ 取扱注意事項

- ① 本灯具の接続には、電気工事士の免許が必要です。
- ② 電源は必ず弊社推奨の定電流電源をご使用下さい。
- ③ 定電流電源の連結数範囲内で連結して下さい。過不足はLEDの点滅や故障の原因になります。
- ④ ハイパワーLEDは発熱が高いため、モジュールの取付は必ずアルミ複合板、金属板アルミバーなどに設置し熱引設計を行い設置して下さい。故障、焼損の原因になります。
- ⑤ 本製品は使用LEDの色度ランクにより発光色が若干異なる場合があります。
- ⑥ 本製品をビスで取り付ける際に閉め過ぎるとプラスチック部分が割れる事がありますので十分にご注意願います。
- ⑦ LED間のコードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないで下さい。
感電、故障の原因になります。

- ⑧ 設置したモジュールを剥す時は、図のようにケーブルを持って引っ張らないで下さい。
破損の原因になります。剥す時は図のように本体を持って回転させて剥して下さい。



- ⑨ 灯具の分解や改造はしないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。
- ⑩ 海水、有機溶剤、腐食ガスなど、灯具に直接さらされる環境での設置、保存は避けて下さい。
- ⑪ 万一、製品に異常が発生した場合は、電源を切り販売店にご相談下さい。
また、ご自分の修理は、絶対におやめ下さい。火災・感電・故障の原因となります。
- ⑫ 視覚障害を起す原因となりますので、点灯中の本製品を直視しないで下さい。
- ⑬ 本製品をシリコン等のコーティング剤で固定補助をする場合は、コーティング部に水が溜まらないよう
ご注意下さい。特に配線部分等ケースとの接続部は、経年劣化と共に水分が侵入し、不具合を招
原因になる可能性があります。
- ⑭ 本製品を器具（看板）内に設置する際には、製品本体の経年劣化や不具合を、
軽減する目的として硫黄成分や雨水などの侵入経路を、できる限り遮断してください。
- ⑮ 本製品の配線を固定する際には、金属製の配線止めは使用しないでください。
配線の被膜を傷つけ、漏電をする恐れがあります。

製品保証について

- ① 保証期間は、製品出荷日より3年間です。
- ② 本取扱説明書に従った正常使用状態で保証期間内に故障した場合は、
センドバックにて無償修理または無償交換をさせていただきます。
- ③ 保証の免責事項
- ・保証期間内であっても次の場合には原則として有償にさせていただきます。
- 1) 取扱の乱用、使用上の誤りによる故障及び損傷。
 - 2) 取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷。
 - 3) 火災、浸水、天災（地震、津波、台風、落雷）によって生じた故障及び損傷。
 - 4) 不当な修理、分解、改造、施工上の不備に起因する故障や不具合。
 - 5) 取扱い注意事項に準じなかつたことにより生じた故障・損傷。
 - 6) その他、上記に類似する原因による故障。



レベリック株式会社 〒104-0061 東京都中央区銀座2-14-2 銀座GTビル5F
Tel 03-3248-1990 Fax 03-3248-1991 URL www.leveliqliq.co.jp E-mail info@leveliqliq.co.jp